

KIKKA

[一覧に戻る](#)

冷間試験

ストーブが完全なOFF状態でなければいけません
SETボタンを『IP』と表示されるまで長押し、表示されたらボタンを離して下さい
マイナスボタンを押して『TS』を表示
SETボタンを押すとPASS:0が表示
プラスボタン押して13を入力
SETボタンを押しC0が表示
プラスボタンで各装置の動作へ移動
ESCボタンでエスケープ

C1:resistenza acc.	着火ヒーター	着火ヒーターON
C2:motore fumi	排気ファン	排気ファンON 40g/s以上であれば正常です。
C3:Motoriduttore	燃料搬送モーター	ペレット搬送スクリュモーターON Err. C11 = 低電流(安全装置の介入) Err. C22 = 正常 Err. C33 = 高電流(オーガロック)
C4:Motore Aria	温風ファン	温風ファンON(最大)
C5:Sonda fumi	排気温度センサー	現在の排気温度を表示
C6:Flusso	給気センサー	なし
C7:Sonda Temp.	室温センサー	現在の室温を表示

パラメーター

SETボタンをIPと表示されるまで長押しして下さい。
マイナスボタンを『PA』を表示されるまで押す
SETボタンを押しPASS 0を表示させて下さい。
マイナスボタンで13を入力して下さい。
SETボタンを押して下さい。
パラメータ内はSETボタンを押すごとに移動します。
ESCボタンでメニューからエスケープできます。

パラメーター	値	説明	単位	備考
rP	—	コード11を入力でパラメーターを標準値にリセット		
n	old	メーカー識別コード		
g'	—	現在の排気ファン回転数を表示	g/s	
nnCo	0000	メーカー識別コード		
t	-	現在の排気温度を表示	° C	
Fl	0	現在の給気センサーの値を表示		
Sf	oF	給気センサーの値の下限値		NON ATTIVO

Al	N0	アラームリストを表示		
CC	of	COMFORT CLIMAのON/OFF		室温に達した時に自動的に消火モードになり室温低下時に再着火します。
A1	25	排気ファン回転数(P1)	g/s	炎の立ちあがりが無く色が赤黒ければ最大で4上げて下さい。炎の立ちあがりやすごくポット内でペレットが暴れようであれば最大で4下げて下さい。
A2	28	排気ファン回転数(P2)	g/s	
A3	32	排気ファン回転数(P3)	g/s	
AA	28	着火第1段階排気ファン回転数	g/s	着火までに時間がかかり煙が多い場合は数値を最大で2上げて下さい。
Ar	32	着火第2段階時排気ファン回転数	g/s	煙突が非常に高ければ最大で4下げて下さい。
AH	32	着火後燃焼安定段階時排気ファン回転数	g/s	
tp	8	初期投入量	x 10 s	着火までに時間がかかり煙が多い場合は数値を7にして下さい。
P1	20	ペレット投入割合(P1)	%	50%であれば5秒サイクルで2.5秒モーターが稼働
P2	26	ペレット投入割合(P2)	%	
P3	39	ペレット投入割合(P3)	%	
PA	15	着火第1段階ペレット供給割合	%	
Pr	20	着火第2段階ペレット供給割合	%	
PH	20	着火後燃焼安定段階時ペレット供給割合		
At	On	Auto reg のON/OFF		
tr	60	Auto reg 補正時間間隔	s	
L1	18	ペレット供給量下限値(P1)	%	
L2	22	ペレット供給量下限値(P2)	%	
L3	28	ペレット供給量下限値(P3)	%	
H1	22	ペレット供給量上限値(P1)	%	
H2	30	ペレット供給量上限値(P2)	%	
H3	40	ペレット供給量上限値(P3)	%	
t1	18	目標排気温度(P1)	x 10 ° C	
t2	21	目標排気温度(P2)	x 10 ° C	
t3	25	目標排気温度(P3)	x 10 ° C	
1P	of	クリーニング時間間隔(火力1)	minuti	
2P	15	クリーニング時間間隔(火力2)	minuti	
3P	10	クリーニング時間間隔(火力3)	minuti	
d1	10	クリーニング時間(火力1)	s	
d2	15	クリーニング時間(火力2)	s	
d3	20	クリーニング時間(火力3)	s	
F1	45	温風ファン (P1)	%	
F2	65	温風ファン (P2)	%	
F3	85	温風ファン (P3)	%	
FF	60	消火段階時温風ファン	%	
ds	15	着火第1段階から2段階目に切り替わる排気温度差	° C	
tA	9	運転段階 (P1,2,3)に切り替わる排気温度	x 10 ° C	15分以内にこの温度に到達しなければアラームAF発生

tS	80	失火したとみなす排気温度	° C	運転中にこの温度を下回るとアラームSF発生
tF	32	最高排気温度	x 10 ° C	この温度を超えるとアラームAL07発生
AJ	10	排気温度センサーの更生	° C	点火失敗の問題を出さないために+ 30 まで上げることが出来ます。 もしこのパラメーターが0ならディスプレイに表示される温度が実際の排気温度です。 このパラメーターを変更することで実際の排気温度より より高く、またはより低く制御盤に読ませる目的があります。
J	0	室温センサーの更生	° C	部屋により精密な温度計があるとすれば、その温度計にストーブの室温度表示が一致するように変更が可能です。
AP	6	ペレット投下割合	x 10 s	
Acc	-	着火回数		
H P1	-	P1での稼働時間	ore	
H P2	-	P2での稼働時間	ore	
H P3	-	P3での稼働時間	ore	
CL	-	運転状況メモリーをコード31を入力してリセット		
Ir	oF	リモートコントロールのON/OFF		
gb	dg	Gestione Black OUT		Gestione Black OUT: rd= immediato、dG = c/analisi g/” estrattore fumi、 d° = dipendente dalla temperatura termocoppia
TH	5	パラメーターAH、PHの持続時間	minuti	
c	40	燃料搬送オーガモーター電流下限値	Enumerico	
C	200	燃料搬送オーガモーター電流上限値	Enumerico	
EC	oF	電流イベント数制限値	N°	
br	13	燃料搬送オーガモーターブレーキ数値	Enumerico	
Eq	8	この時間以上の揺れを感知した場合にアラームEqが発生	secondi	耐震のアラームが発生した場合、通常の消化段階を継続し、消火します